

～ All for one, One for all. ～

ヨハネが捕えられた後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べ伝えて言われた、「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」。

マルコによる福音書
第一章一四～一五節

光 の 家

LIGHT HOUSE WITH THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 185 号 —

2016 年 1 月 1 日発行



年末恒例のもちつき大会（心塾にて）

謹
賀
新
年

新年あけまして
おめでとうございませう

皆様には佳き新年をお迎えることと存じ、心よりお慶び申し上げます。旧年は国内外ともにも多事な年でしたが、倅いにも社会の皆様から沢山の温かいご支援を賜り、微力ながらも社会的役割を果たすことが出来ました。

新年を迎え、役職員一同、社会からの要請に応え、信頼される福祉事業体でありたいと、気持ちも新たにしております。本年も視覚障害者福祉と地域福祉の充実のため、日々の業務に一生懸命あたらせて参る所存です。何卒、新しい一年も旧年同様に変わらぬご指導ご鞭撻を賜りたく、併せて皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二八年 元旦

社会福祉法人 東京光の家

役・職員一同

巻頭言

感動の福祉

社会福祉法人東京光の家
理事長 田中亮治



現代の社会はお金優先の時代で、『何かに感動』すること

を失ってしまった、と言われること。しかし、『何かに感動すること』は私たち人間にとって、この上なく尊いことであります。感動は生きる力です。又、生きがいとは感動の別名でもあります。感動のない生活は無味乾燥であり、愛のない冷えた生活で、まさに砂漠の生活のようなものです。

私ども福祉施設で、よく利用者の生き甲斐が大切だ、と言います。その通りであります。

そのために一つの前提要件があります。というのは、職員自身が自分の従事している毎日の仕事に喜びを感じてあたるようになければ、とても利用者自身が生き甲斐を持てるようにはならないと思います。

私たちは、様々なものに感動しますが、福祉における感動、特に利用者はどんな時に生きる力となる感動をするのでしょうか。私の五〇数年の経験によれば、職員たちの真実なる愛を感じとった時にであるようです。職員が自分を愛してくれている、と感じとった時に利用者は力強く生かされます。これが利用者の最大の、しかも最重要な感動であります。力強く生かされるということとは、色々な障害の

困難をも乗り越えて、作業や訓練に積極的に取り組むようにされ、毎日を明るく生きるようになる、ということを意味します。

一方、職員は又、このような利用者の姿を見て、大きな喜び、感動を覚えるのです。このように、障害を負いながらも、一生懸命に生きる利用者の姿が、働く職員の喜びの源であり、感動を以て仕事にあたる力ともなります。私は、福祉において、このような感動を感じないままでは仕事を継続することはとても苦痛であり、困難なことであると思っています。又、このような感動のない福祉は、結局表面だけのものに終わってしまうような気がしてならないのであります。幸いな事に、私ども福祉施設の仕事には、感動と喜びを味わうことのできる機会や場面が沢山用意されています。

このように、福祉の仕事には、感動できる素材が他の職業に比べて多くあると、私は考えています。そこで、その素材を、感

会報五言

- 一、大きく政治が動いてきたようだ。さて、ではどう動くのか。福祉を大切にする政治にしたいものだ。
- 二、特に障害を持つている方が真の意味で活躍できる社会でありたいものだ。しかも障害が重い人でも明るく働ける社会に。
- 三、障害者自身も明るくあつてほしい。中広く誰とでも人間関係が保てるように努力してほしい。
- 四、さて、新しい年はどんな年になるのか。希望と夢を持つて生きる年にしよう。たとい辛い日々があつても前へ前へ進もう。
- 五、神が下さる人生である。嵐もあれば台風もあるかも知れない。それでも人生は人生である。希望を持つて生きよう。

動あるものとして生かして行く努力も大切です。努力なくして、何事も生かされないのではないのでしょうか。では、どうしたら良いのでしょうか。私はこんなふうに思っています。感動を感じとるには、愛がなければなりません。なぜなら、愛あるところには必ず感動があるからです。例えば、自然を愛する者のみが自然の美を観て打たれ、感動する、歌の好きな人が素晴らしい歌、一生懸命に歌う姿をみて感動を覚える、人を愛する者がその人の成長と懸命に生きる姿に接して感動する類いであり、何事においても、愛と関心のないところには、感動は発生致しません。これが、私の基本的な考えであります。だから、私どもが従事している福祉の仕事も感動の素材があるだけでとどまらずに、常に感動を感じとうとする努力も大切であると思っています。

〔職員の内情〕

田中亮治 講義集「より」



左から武田職員、阿久津選手、大坪日野市長、長井選手、川辺園長

**全国障害者スポーツ大会
金メダルの二名が「日野市文化・スポーツ功労者顕彰」を受賞しました!**
平成 27 年 2 月 24 日(月)
会場：日野市役所 会議室
光の家新生園の阿久津香織さんと長井啓子さんが、「日野市文化・スポーツ功労者顕彰」を受賞しました。これは平成 27 年 10 月に開催された「第一五回全国障害者スポーツ大会」にて金・銀メダルを獲得した功績が高く評価されたものです。表彰当日には、大坪冬彦日野市長から記念の「かわせみバッジ」が贈呈されました。

第 19 回 手さぐりの作品展開催

- 【日 時】平成 28 年 2 月 16 日(火)～21 日(日)
10:00～19:00(最終日は 17:00 まで) ※今回は休館日はありません
【会 場】日野市立とよだ市民ギャラリー(JR 中央線豊田駅北口徒歩 3 分)
日野市多摩平 2-3-4 オリент丹野マンション地下 1 階
☎042-586-1961
【問合せ】東京光の家 ☎042-581-2340

光の家新生園の利用者の方々が造った作品を展示しています。
日頃の訓練の成果を惜しみなく発揮した力作揃いです。
見ても触っても楽しめる作品ばかりです。ご来場お待ちしております。



今年も楽しい作品展にします!

法人役員

代表理事・評議員 田中亮治
常務理事・評議員 石渡健太郎
理事・評議員 相澤忠一

松本栄二 杉山吉昭 篠崎友照 菅野秀郎 亀岡寛治

監事 白井富士夫 藤田洋 顧問 杉山閑男 評議員 安藤 岩島 梅田 加藤 佐川 川辺 山引

横山公一 佐川勝一 川辺和宣 軽部義政 加藤保武 梅田俊幸 岩島 藤田 安藤 岩島 梅田 加藤 佐川 川辺 山引

第九七回 東京光の家クリスマス

「主の降誕を祝して」



光の家にとってクリスマスは、いお言葉をいただきました。また、体調を崩されていた菅野理恵より声の便りをいただき、利用者職員一同大変嬉しく、また勇気づけられました。

第二部「祝会」の開会は、聖歌隊三六名による「ハッピーバースデー」「ノエルノエル」。クリスマスにふさわしい温かく元気な歌声とフルートが会場に響き渡りました。光の家栄光園による

降誕劇「天から降りてきた救い主」は、当時を思い起こさせる素晴らしい演出としつかりとした台詞回しが一人ひとりの練習の努力を感じました。

神様の祝福に包まれ、お世話になった皆様にご出席いただき、一年を締めくくる心温まるクリスマスとなりました。有難うございました。

旧約聖書、新約聖書を繋げるのは『悔い改め』である。悔い改めて福音を信ずれば、神が背負ってくださり、多くの罪が赦され救われる。イエスの福音を信じて、進ませていただく。」と力強い

(クリスマス委員長 手島 康光)



第二部「祝会」：演劇



第一部「礼拝」：相澤理事



第三部「会食」



第二部「祝会」：聖歌隊



食欲の秋、読書の秋、運動の秋など、秋はさまざまな呼ばれ方をする季節ですが、ここ光の家では秋と言えば「外出行事の秋」とも言えるほど、各施設が外出行事を計画します。今年は各施設とも、二月にさまざまな工夫を凝らした外出行事を行いました。



「徹子の部屋」のゲスト気分?!

●**新生園**では、社会見学を行いました。行き先は立川防災館、NHKスタジオパーク、羽田空



かんぽの宿でのんびり、ゆったりリフレッシュ!

港、コカ・コーラ多摩工場、赤坂／六本木のTV局、浅草の六か所で、二日間に分けて三ヶ所ずつ行われました。利用者に希望調査を行い、行き先を決めることができました。

●**神愛園**は、かんぽの宿青梅に行ってきました。宿ではおいしい料理を食べ、温泉にゆつくりとつかり、翌日はショッピングモールで買い物や食事などを楽しんで帰ってきました。旅行に参加できなかった仲間のために、お土産を山ほど買い込んでバスに乗り込む利用者の姿が印象的でした。

●**栄光園**は、カラオケ&カン喫茶コース、新宿コース、昭島モリタウンコース、立川コースの四コースに分かれ、外出を楽しみました。今年も「買い物はしないで一日楽しみたい」と、カラオケボックスで一日楽しむコースを設定し、たいへん好評でした。



昭島モリタウンでのお買物!

●**就労ホーム**では、二月二十五日に「二日外出」として、森永乳業東京多摩工場に出かけました。ここでは、チーズ作り体験を行ったり、風味パネルマイスター体験として、細かい

風味の違いを当てる味覚テスト体験をしてきました。いつもの仲間と一緒に、大いに楽しむことのできた一日でした。



チーズ体験、おいしいチーズになりますように!

今年の一月は、外出するのに丁度良い季節の日が多く、利用者の皆さんの期待も大きかったようです。

近年では、利用者の方々の希望も多種多様になってきており、それに応えるべく、職員もさまざまな工夫を凝らした企画を考えた外出行事でした。

(光の家新生園 訓練課

主任 草間 樹)

利用者の声

二〇一六年の抱負



金メダル奪還！

光の家新生園 高橋 繁

笑顔と元気の年に！

光の家栄光園 中川 勝

七回目の年男

光の家神愛園 今村 寛二

仕事、頑張るよ！

光の家就労ホーム 滝沢 海斗

今年はまず、一月二四日のマラソン大会で、金メダルを狙います。そして、何と言ってもサウンドテーブルテニスで、都大会でも一度金メダルを取りたいです。去年の大会では、決勝で惜しくも負けてしまったので…。あと、演奏活動も、光バンドとひまわりを両方頑張りたいです。



ボールの音に集中！



生涯現役！！

今年も健康に気をつけて、元気に栄光園での仕事を頑張りたいです。特に製品のリング通しと端末は、ずっと続けてきた作業なので、これからも続けていきたいです。また軽作業のグッデীর組み立ても頑張っていきます。

私は今年七回目の年男を迎えます。光の家にきてから四〇年になります。歌うことが大好きで、天気の良い日は職員やボランティアの人と一緒に、東公園のベンチに座って歌っています。時々近隣の人に「上手ですね」と声を掛けられたり、楽しく過ごしています。皆さん、今年もよろしくお願いします。



健康の秘訣は好きな歌♪



目標に向かって頑張ります！！

ぼくは去年、成人式をやりました。おとなになりました。今年もカナンの仕事、DM（ダイレクトメール）の仕事、もっと頑張ります。仕事を頑張って、給料をいっぱいもらって、お金をいっぱいためます。いっぱいになったら、テレビを買いたいです。



新たな仕事に挑戦！

光の家障害者グループホーム

佐藤 聡志



チャレンジ精神を忘れずに頑張ります！

昨年四月に新生園からグループホームに移動しました。日中活動は栄光園三係です。はじめての仕事は緊張だらけで、話せる人もいませんでした。が、野球の話などするうちに少しずつ話が出来るようになりました。緊張と新しいことの連続でしたが、少しずつ友達も増えていきます。今年は栄光園のシヨップ勤務なども挑戦してみたいです。

苦手を克服する年に

光の家鍼灸マッサージホーム

関口 美和



お気軽にお越し下さい！

最近の患者さんは手技の技術もさることながらコミュニケーションも求めているらしい。やる方が多いように思います。マッサージの仕事は接客業なのに私は人と話すのが苦手です。今年は聞き上手、話し上手になっていきたいと思っています。研修では指圧を学んでいます。今までの手技に上手に取り入れて患者さんに喜んで貰えるように頑張ります。

光の家鍼灸

マッサージホーム

真心をこめた施術で、皆さまの健康に奉仕させて頂きます。

受付時間（電話予約制）

午前九時～午後七時半

定休日 毎週水曜日

電話

〇四二（五八二）七二〇九

料金

はり 四、〇〇〇円

マッサージ 三〇分 二、五〇〇円

七〇分 三、八〇〇円

一〇〇分 五、〇〇〇円



※ 毎月1日はサービスデー、500円割引

寄付者名簿

平成二十七年二月一日
二月二〇日

一般社団法人東京馬主協会様
（東京善意銀行様を通して）
金一四八、九八〇円（エアーマットレス購入）

東京都総務局様 乾パン 三八四食

百草食品様 アルファ化米 四〇〇食

城山鶏園 加藤泰文様 飲料水 二、四本

田中亮治様 米 卵 五kg

福原薫二様 米 二七kg

ミツ様 点字タイプライター（中古） 二百

河村正様 点字用紙 三二八枚

井川幸雄様 かぼす 五kg

阿久津隆様 ゆず 五kg

松橋敬様 柿 五kg

亀山潔様 かんづまいも 二kg

土屋正和様 さつまいも 八kg

七瀬隆幸様 じゃがいも 一八kg

石川紀子様 かぼちゃ 二kg

折茂冬貴様 さつまいも 五kg

大根 二六kg

みかん 二〇kg

りんご 二〇kg

米 二七kg 里芋 七kg

白菜 四四kg

大根 五〇kg

もち米 二七kg

玄米 一八〇kg

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。



多くの方が来場され、大盛況でした！

平成二十七年二月三日～九日は日野市主催による「障害者週間」、期間中は日野市内の障害者施設のパネル展示や作業作品販売等、様々な催しが行われ、イオンホールでのイベント最終日には「光バンド演奏会」が開催されました。

会場には大勢のお客様が越しくださり、光バンドの音楽を地域の方々にお届けする素晴らしい機会となりました。

**日野市障害者週間
光バンド演奏会**

平成二十七年二月五日（土）
会場：イオンモール多摩平の森



体験してくださった皆さん、ありがとうございました！

童謡「たきび」を作詞した「異聖歌」が、後半生を日野市旭が丘で過ごしたのになみ、毎年初冬のこの時期に旭が丘商工連合会主催による「たきび祭」が開催されています。光の家も牛乳パックを使った「紙すき教室」を行って、小学生をはじめ地域の皆さんに体験して頂きました。また、舞台での新生園「ひまわり」の演奏やカナンの模擬店も好評で、地域との交流を深めることができました。

「たきび祭」に参加

平成二十七年二月五日（土）
会場：旭が丘中央公園



豪華な光の家の「おせち料理」

お節料理には縁起が良い料理を重箱にぎつしりと詰めることで「今年一年良いことがたくさんありますように」という願いが込められています。

世界無形文化遺産にも選ばれた日本の、そして光の家の伝統料理でもあるお節料理を、今年も利用者の皆さんに堪能していただきたいと思います。

（食事課 横島 伸二）

**光の家伝統の
おせち料理**

～あとがき～

新年おめでとうございます。今年も皆様にとってよき年になるようお願い申し上げます。

さて、今回の新年号では光の家が大切にしている「光の家クリスマス」を載せています。「光の家クリスマス」は世間一般のクリスマスと違いイエスのご降誕を祝い、基本理念を確認する大切な行事です。

また、利用者の「二〇一六年の抱負」の声も載せていますが皆さん、新たな気持ちで仕事に運動に一生懸命、取り組む決意が感じられました。

われわれ職員一同も利用者に負けることのないようこの一年を真剣に利用者の支援にあたらせて頂く所存でございますので、今年も宜しくお願い申し上げます。

（常務理事 石渡 健太郎）

発行 行 〒一九一〇〇六五
東京都日野市旭が丘一七七一七
社会福祉法人 東京 光の家
電話 〇四二（五八二）二三四〇
FAX 〇四二（五八二）九五六八